

編集後記

■編集委員 (50 音順)

伊熊健一郎	岩崎昭憲	小澤壯治	北島政樹
北野正剛	清水一雄	徳村弘実	東原英二

先日、仙台で日本胆道学会があり、上海の大学病院から留学で来日している J 先生を伴い参加した。ご存じ慶應義塾大学 古川俊治先生の医療事故と胆道疾患についての特別講演があり拝聴した。弁護士であり消化器外科医の先生の話は、すでに 4 回目。一医師の講演にそう何度もお付き合いすることは多忙な外科医には通常なろう。講演は ERCP や胆管損傷にまつわる事故、身につまされる事例、その法的解釈・判断についていつもながら刺激的な内容で、明快なお話であった。日頃講演をほとんど聞くことのない若手医師なども真剣である。その際、会場からの 2 つの質問が気になった。1 つは「説明責任の今後について」というものであったが、「説明責任は重くなることはあっても軽くなることはない」、そして「術前説明時については執刀医の特定と手術経験を知らせる必要はない」という先生の回答であった。日常診療でインフォームド・コンセントに苦慮したり、術前の説明が長時間に及ぶことがあることは、読者諸先生方も状況は一緒であろう。思い出されるのは、10 年ほど前、関西のある大学病院の外科医から「胃癌手術でも 1.5 時間は説明する」と聞き、大変だなと思ったことがあった。患者の権利意識も西高東低かと。ところが、東北でも説明が長時間に及ぶようになるのに、それほど日時はかからなかった。しかしながら、説明するのはよい、いくらでも我々も説明したい。でも時間がない。勢い時間外、休日の説明となる。そして 2 時間話しても診療報酬には関係ない。診療報酬に収載しようという議論があったらしいが断ち切れ。DPC の今となっては収載されることはなかろう。これが、患者との対話が何よりも大事な精神科診療の貧困（と考えている人が多い）の原因とも聞いたことがある。

その帰途の車中、日本語のわからない J 先生に講演内容を下手な英語で説明すると、英国に 2 年の留学経験のある彼は流暢な英語で中国の最近の医療事故について話してくれた。彼らも非常に医療事故に関心が高く、医事紛争が多発しており特に管理職には頭の痛い問題だそう。そして、医療・保険システムが最近変わったとのこと。例えば患者が医療事故死した場合、第 1 度医療事故と分類されるのだそう。仮に病院や主治医にまったく落ち度がないと判断されても、保険金の 90% は保険会社でカバーするが、残りの 10% は病院と担当医師が 5% ずつ負担しなければならない。そして、医師は責任があったときは 3 か月の免停になるという。もう 1 つ、数年前から上級の病院勤務医や教授はプライベートクリニックを持てるようになったそう。上海の都市開発は世界一ともいわれ近未来都市の様相を呈しているが、医療システムの世界も我が国を遙かに超え、欧米の先進的なそれと接近しているように感じられた。“Japanese medical system is just like communism” と嘲笑しながら車を降りた。

(徳村弘実)

日本内視鏡外科学会雑誌 (第 11 巻 第 5 号) 2006 年 10 月 15 日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1 部定価：会員には毎号送付されます。その他については、1 部定価 2,835 円（本体 2,700 円＋税 5%）となります。

2006 年 年ぎめ予約購読料：16,500 円（税込）（配送料：医学書院負担）

編集・発行：日本内視鏡外科学会（代表：北島政樹）

〒162-0802 東京都新宿区改代町 26-1-B03 有限責任中間法人学会支援機構内

☎ 03-5206-6007 Fax 03-5206-6008 担当：佐々木 http://www.jses.org

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 26-1-B03 Kaidaicho Shinjuku-ku, Tokyo, 162-0802, Japan

©2006, Printed in Japan

発 売：株医学書院（代表：金原 優）（本誌担当：藤田，中田） http://www.igaku-shoin.co.jp/

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3（振替口座 00170-9-96693 番）

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659・5660 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷(株) ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (株) 文栄社 ☎ 03-3814-8541 (Fax 03-3816-0415)

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。